

2023 年度「論理国語」（数研出版）分冊と各巻の掲載内容

●点字教科書は6分冊で、各巻の分冊ページは以下の通りです。

巻数	墨字教科書の頁数	掲載内容等
1 巻	7~57 頁	総巻目次 領域別学習の指針 この教科書で学習するために 第一章 学ぶということ 具体と抽象 普遍的な言葉
2 巻	58~125 頁	第一章 近代と現代の視点 情報と社会
3 巻	126~169 頁	第一章 思考の枠組み
4 巻	170~230 頁	第一章 考えの表出
5 巻	231~312 頁	第二章 異文化と普遍 情報と知性 環境と人間
6 巻	313~383 頁 前見返し③ 後見返し④ 奥付	第二章 思索の深化 考えの表出 表現編・資料編 表現編 1・2 資料編 見返し（巻頭・巻末） 著作者・編集委員、編集協力

※ 点字教科書第1巻総巻目次には、2巻以降の教材タイトルを掲載。

●領域別学習の指針【指針の項目のみ掲載】

書くこと

- 目的に応じて題材を決める
- 情報の妥当性を吟味する
- 構成や論理の展開を工夫する
- 主張と根拠を明確にする
- 表現のしかたや論理性を検討する
- 自分の文章をとらえ直す

読むこと

- 論点と要旨を把握する
- 文章の目的や校正をとらえる
- 批判的に読む
- 多面的に評価する
- 書き手の意図をとらえる
- 関連づけて読む
- 資料をもとに考えを深める

知識及び技能

- 言葉の特徴や使い方を知る
- 情報の扱い方を理解する
- 読書の意義と効用を知る

●編集の具体的内容

墨字頁等		編集内容												
64	写真	崩落する氷河 【タイトルごと削除】												
64	2行目	次のグラフを見てみよう。→次の表を												
64	円グラフ	<p>【数表化 本文下段5行目の後に挿入】</p> <p>二酸化炭素排出量の国別割合 (2015年。環境省資料による)</p> <p>「表の説明」 単位は%</p> <p>排出量 323億トン</p> <table> <tr> <td>中国</td> <td>28.1</td> </tr> <tr> <td>アメリカ</td> <td>15.5</td> </tr> <tr> <td>EU28か国</td> <td>9.9</td> </tr> <tr> <td>ドイツ</td> <td>2.3</td> </tr> <tr> <td>イギリス</td> <td>1.2</td> </tr> <tr> <td>...</td> <td></td> </tr> </table>	中国	28.1	アメリカ	15.5	EU28か国	9.9	ドイツ	2.3	イギリス	1.2	...	
中国	28.1													
アメリカ	15.5													
EU28か国	9.9													
ドイツ	2.3													
イギリス	1.2													
...														
65	2行目	(→211頁) → (→4巻●ページ)												
65	グラフ	<p>【点図化 本文上段6行目の後に挿入】</p> <p>図 世界の年平均気温偏差と二酸化炭素排出量の推移 (気象庁資料などによる)</p> <p>【二枚にわけて掲載】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各年の平均気温の基準値からの偏差 ・二酸化炭素排出量 												
66	写真	<p>【タイトル掲載 66頁20行目の後に挿入】</p> <p>(写真) — 温暖化による海面上昇で水没の危険性がある国 (モルディブ共和国)</p>												

67	図	<p>【点図化 写真の後に挿入 問題群に記号を付し、背景色の区別・問題群間の矢羽根（→の向き）削除】</p> <p>図 問題群としての地球環境問題 （環境省資料による）</p> <p>図中のア. ~ノ. は次の地球環境問題を表す。</p> <p>ア. — 資源消費 イ. — 農作物増 ウ. — 森林伐採 エ. — 化石燃料の使用 オ. — 人物流（人流・物流）の拡大 カ. — 環境汚染物質・廃棄物排出 キ. — 化学物質使用 ク. — フロン排出 ケ. — 農地劣化 コ. — 地下水枯渇 サ. — 森林減少 シ. — 地球温暖化 ス. — 都市交通問題 セ. — 海洋汚染 ソ. — 越境汚染 タ. — オゾン層破壊 チ. — 資源枯渇 ツ. — 土壌劣化・砂漠化 テ. — 食糧危機 ト. — 災害増加 ナ. — 海面上昇 ニ. — 大気汚染 ヌ. — 酸性雨 ネ. — 化学物質の暴露・蓄積 ノ. — 紫外線量増加</p>
68~	この教材共通	近代の入口と出口の間【文末注】
71	写真	国立国会図書館の本館書庫【タイトルごと削除】
73	写真	<p>【タイトル掲載 73頁16行目の後に挿入】</p> <p>（写真） — コペルニクスの地動説が…</p>
74	地図	<p>【タイトル掲載 74頁15行目の後に挿入】</p> <p>（地図） — 大航海時代の地図（東アジア図）（削除）</p>

78	図	<p>【マッピングのように書き出し 実線枠囲み】</p> <p>人間 —</p> <p>1. 感情 —</p> <p>ア. 歡喜 — …、…</p> <p>イ. 懸念</p> <p>苦渋 — …</p> <p>物思い — …</p> <p>恐れる — …、…</p> <p>難じる — …</p> <p>2. 思考</p> <p>ア. 案ずる — …、…</p> <p>イ. 察する — …、…</p> <p>ウ. 合点 — …</p> <p>エ. 得心 — …、…</p> <p>オ. 類推 — 憶測 — …、…</p> <p>3. 動作</p> <p>ア. 凝視 —</p> <p>見入る — …</p> <p>…</p> <p>イ. 聴取 — …、…</p> <p>ウ. 享受 — …、…</p> <p>エ. 叙述 — …、…</p> <p>4. 様子</p> <p>ア. 華美 — …、…</p> <p>イ. 微細 — …、…</p> <p>ウ. 膨大 — … 【膨大と明瞭を入れ替え】</p> <p>エ. 明瞭 —</p> <p>顕著 — …、…</p> <p>判然 — …</p> <p>自明 — …、…</p>
78	下段 6～7行目	<p>○「うわさが流布する」</p> <p>×「うわさが普及する」</p> <p>↓</p> <p>マル「うわさが流布する」</p> <p>バツ「うわさが普及する」</p>
80	7行目	①食餌 食べ物。 【漢字の説明は付さず、原文通り】
81	写真	<p>【タイトル掲載 81頁2行目の後に挿入】</p> <p>(写真) — 古代エジプトの暦</p>
81	3行目	右に述べたような → 先に述べたような
83	写真	ガリレオ ニュートン 【タイトルごと削除】
85	16	<p>科学者（化学者）</p> <p>【「カガクシャ」と点訳、注を付し、脚注を追加】</p> <p>→ *1カガクシャ</p> <p>*1 カガクシャ — ここでは総称としての科学者と自然科学の1分野の「バケガク」の化学者が併記されている。</p>
86	写真	<p>【タイトル掲載 86頁4行目の後に挿入】</p> <p>(写真) — 第二次世界大戦中に製造された原子爆弾</p>
95	写真	アインシュタイン 【タイトルごと削除】

【数表化】

(1) 自分の部屋などに対して自分の居場所と思うかどうか

「表の説明」

- 部屋 — 自分の部屋
- 家庭 — 家庭（実家や親族の家を含む）
- 学校 — 学校（卒業した…）
- 職場 — 職場（過去の…）
- 地域 — 地域（現在…）
- ネット — インターネット空間
- 1 — そう思う
- 2 — どちらかといえばそう思う
- 3 — どちらかといえばそう思わない
- 4 — そう思わない

単位は%

	1	2	3	4
部屋	61.0	28.0	6.2	4.8
家庭	39.1	40.7	…	

…

(2) 対象別のつながりの強さについて

「表の説明」

他者との関りを示す項目ごとに、対象別に「そう思う」と回答した者の割合を示す。「そう思う」は、「そう思う」・「どちらかといえばそう思う」の合計。【読点を中点に変更】

対象は次のように略記した。

- 家族 — 家族・親族
- 友人 — 学校で出会った友人
- 職場 — 職場・アルバイト関係の人
- 地域 — 地域の人
- インターネット — インターネット上の人

単位は%

楽しく話せる時がある

家族	81.0
友人	76.9
職場	58.7
地域	27.8
インターネット	37.5

何でも悩みを相談できる人がいる

家族	59.8
----	------

…

		<p>(3) 自分の居場所とと思っている場の数と生活の充実度</p> <p>「表の説明」</p> <p>場の数 — 居場所と思うと回答した場の数</p> <p>充実度 — 154頁の(1)で自分の居場所と思うかどうかを尋ねた質問に対し、「そう思う」・「どちらかといえばそう思う」と回答した場の数別に、現在の生活について「充実している」・「どちらかといえば充実している」と回答した者の割合。【中点を補足、中点に変更】</p> <p>単位は%</p> <p>場の数 充実度</p> <p>0 ☒ 25.3</p> <p>1つ 36.4</p> <p>…</p> <p>出典… いずれの表も、内閣府「平成29年版 子供・若者白書」をもとに作成。</p>
136～	この教材共通	<p>「鯨」に第1指示符を付し、「クジラ」と区別</p> <p>《 》 ” ” 〈 〉 全て第二カギ。書き分けなし。</p>
136	タイトル	<p>【注の追加】</p> <p>初出(タイトル)に注をつけ、以下を断る</p> <p>*1 本文中では「くじら」という語がカタカナと漢字で書き分けられている。漢字で表されている「くじら」には第1指示符を付した。</p>
136	4行目	クジラの傍点を削除。傍点に付す第1指示符を漢字との区別に用いているため
139	8行目	人間／自然の二元論 → 人間・自然の二元論 【中点】
143	上段	<p>【点図化 143頁1行目の後に挿入】</p> <p>「図」</p> <p>〈環境倫理〉… 普遍的・公的・グローバルな価値(普遍的に願われる)</p> <p>希求 ↑ ↓ 活用</p> <p>〈環境道徳〉… 多元的・私的・ローカルな価値(生存・生活から求められる)</p> <p>○ 〈環境道徳〉</p> <p>クードーカ — 〈環境道徳〉の空洞化</p>
146	上段	【点図化 146頁上段18行目後、下段2行目後、下段5行目後にそれぞれ挿入】
147	図	【点図化 本文の後に挿入】
154	注⑱	<p>【漢字の説明追加】</p> <p>ふしのしん(「しん」は「した」しむ)・ふーふのべつ・ちょーよーのじょ・ほーゆーのしん(「しん」は「しん」じる)</p>
158	13行目～	<p>【歴史的仮名遣い】</p> <p>「世の中にむつかしきことをする人を…その正味は賤しき人なり。」</p> <p>「日々のをしへ」</p> <p>貴き(たふとき) 多し(おほし)</p> <p>公卿、大小、やう、正味(くぎょー、だいしょー、よー、しょーみ)</p>

168	下段図	<p>【点図化 168頁6行目後に挿入】</p> <p>「図」</p> <p>近代より前 近代 — 「個人」の独立</p> 
172	路線図	<p>【路線図削除。枠囲みにして、駅名を列記。172頁12行目の後に挿入】</p> <p>西宮市にある駅（22駅）</p> <p>今津、久寿川、苦楽園口、甲子園、甲子園口、甲東園、甲陽園、香櫨園、さくら夙川、夙川、洲崎、生瀬、成尾・武庫川女子大前、西宮（2駅）、西宮北口、西宮名塩(にのみやなじお)、阪神国道、東成尾、武庫川、武庫川団地前、門戸厄神</p>
178	設問1	本文中から30字以内で抜き出して答えよ。 → 本文中から30字（点字50マス）以内で抜き出して答えよ。
183	学習2.	140字（点字32マス8行）以内で
183	言語活動	(例) 次頁の写真で書く場合 【参照頁指示と写真を削除】
184	ことばと表現 2.	<p>【(3)は被との区別が必要、漢字を特定するため訓読みもいれる。＝は第2つなぎ符】</p> <p>2. 不可欠 (p28 14) とあるが、次の (1) ～ (3) の漢字を接頭語とする、漢字3字で表される熟語をそれぞれあげてみよう。</p> <p>(1) フ (ブ)</p> <p>(2) ム (ブ□な=い)</p> <p>(3) ヒ (あら=ず)</p>
198	設問2	<p>198頁本文中から10字以内で抜き出せ。</p> <p>→ 69ページ7行目～72ページ7行目の本文中から10字（点字15マス）以内で抜き出せ。</p> <p>【範囲指示は、198ページ2行目「かつての軍国主義は…」という段落から、199頁1行目「…結びつかない。」まで】</p>
205	8行目	右のような → 先のような
210	図	【点図化 210ページ下段8行目の後に挿入】
213	9行目	右の上司→先の上司
214	9行目	右の→先の
215	2行目	<p>【歴史的仮名遣い】</p> <p>もみぢ ゆふぐれ</p>
219	5行目 下段ことばと表現	
238	下3行目 下7行目	<p>お風呂もわいていづに</p> <p>あげませづ</p> <p>「づ」と表記</p>
249	写真	<p>【タイトルのみ掲載 本文（249頁下段8行目）の後に挿入】</p> <p>* フェアトレード…発展途上国でつくられた製品を…</p> <p>(写真) — フェアトレードコーヒー</p>
249	グラフ	<p>【点図化 写真の後に挿入。グラフの上に以下を補足】</p> <p>図 国内におけるフェアトレード認証製品の市場規模の推移 (フェアトレード・ラベルジャパン資料による)</p> <p>2018年 — 国内推定市場規模 約124億3600万円</p>

258	下段枠内	根拠A（共有されている事実） <論拠>暗黙の了解があるときは省略されることもある。根拠と同様に妥当性については確認が必要。 → 主張B
267	発問3	本文中から15字（点字30マス）以内で抜き出せ。
270		【タイトルのみ掲載 本文の後に挿入】 （写真）— 自動運転バス
272	7～8行目	【漢字の説明追加】 「遠く」の送りもの=贈りものは、 → 「とおく」の おくりもの（「そーしん） いこーる おくりもの（「ぞーよ）わ、
286	写真	【タイトルごと削除
298	発問1	八字（点字18マス）で答えよ。
305	学習1.	それぞれに十五字以上二十字以内（点字25～40マス）で小見出をつけてみよう。
305	学習2.	百字以上百二十字以内（点字32マス6～8行）で説明してみよう。
306		ルビは基本先に書いているが、この教材は、注との関連で、本体（ルビ）の順に記載。
320	図	【削除】 「支配」以外は本文に記載あり。本文で内容は十分理解できる。ミスリードの可能性のある図のため、削除。
321	1行目～ 3行目 5行目 6行目 7行目	【歴史的仮名遣い】 ていとう ていとう しひ／とはれて ※2拍の連体接続ではあるが、「問ふ」の用例に「連用形に接続して…」とないため、複合動詞とはみなさずに区切る。 有様 ありよー 申すなり まうすなり
335	言語活動 2.	資料図→資料（表） 3. A（66～68頁）は、資料（表）（62～63頁）と資料文（64～66頁）の内容をもとに、働く目的について書かれた意見文である。Aの内容について、次の観点から意見交換をしてみよう。 （観点） 資料を正しく読み取れているか。 文章のまとめ方は論理的か。

335	図	<p>【数表化 1991～2019年の2年ごとの数値。1971～1990年は削除】</p> <p>資料（表）</p> <p>新入社員の働く目的</p> <p>「表の説明」</p> <p>経済 — 経済的に豊かになる</p> <p>生活 — 楽しい生活をしたい</p> <p>能力 — 自分の能力をためず</p> <p>社会 — 社会に役立つ</p> <p>単位は%</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>経済</th> <th>生活</th> <th>能力</th> <th>社会</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1991</td> <td>26</td> <td>32</td> <td>26</td> <td>4</td> </tr> <tr> <td>1993</td> <td>25</td> <td>30</td> <td>28</td> <td>5</td> </tr> <tr> <td>1995</td> <td>27</td> <td>29</td> <td>28</td> <td>6</td> </tr> <tr> <td>1997</td> <td>25</td> <td>29</td> <td>30</td> <td>5</td> </tr> <tr> <td>2001</td> <td>22</td> <td>35</td> <td>27</td> <td>6</td> </tr> <tr> <td>…</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>2011</td> <td>21</td> <td>38</td> <td>18</td> <td>15</td> </tr> <tr> <td>…</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>2019</td> <td>28</td> <td>40</td> <td>11</td> <td>9</td> </tr> </tbody> </table> <p>出典… 日本生産性本部「働くことの意識」調査（平成31年度新入社員）をもとに作成。</p>	年度	経済	生活	能力	社会	1991	26	32	26	4	1993	25	30	28	5	1995	27	29	28	6	1997	25	29	30	5	2001	22	35	27	6	…					2011	21	38	18	15	…					2019	28	40	11	9
年度	経済	生活	能力	社会																																																
1991	26	32	26	4																																																
1993	25	30	28	5																																																
1995	27	29	28	6																																																
1997	25	29	30	5																																																
2001	22	35	27	6																																																
…																																																				
2011	21	38	18	15																																																
…																																																				
2019	28	40	11	9																																																
338		<p>我が国と諸外国の若者の意識に関する調査</p> <p>※調査対象国… 日本、韓国、アメリカ、イギリス、ドイツ、フランス、スウェーデン。</p> <p>※調査対象者… 各国13歳から満29歳までの男女。各国1000サンプル回収を原則とする。</p> <p>※「資料1」（p72）・「資料3」（p76）・「資料4」（p80）は日本の回答結果である。【初出のみ資料に頁指示】</p> <p>「資料1」は、以下の質問に対する回答結果である。</p> <p>質問 — 次のことがらが…</p> <p>「資料2」（p75）は、「資料1」のaの国別の結果である。</p> <p>「資料3」は、「資料1」のaとd、aとe、aとgの関係を調べたものである。</p> <p>「資料4」は、以下の質問に対する回答結果である。</p> <p>質問 — あなたは、自分の将来について明るい希望を持っていますか。あてはまるものを…</p> <p>【資料グラフは全て数表化】</p>																																																		

資料1	<p>表 自分自身のイメージ</p> <p>以下の質問に対する回答結果である。</p> <p>質問 — 次のことがらが…【冒頭部再掲】</p> <p>「表の説明」</p> <p>a — 私は、自分自身に満足している</p> <p>b — 自分には長所があると感じている</p> <p>…</p> <p>k — 早く仕事をして稼ぎたい</p> <p>ア. — そう思う</p> <p>イ. — どちらかといえばそう思う</p> <p>ウ. — どちらかといえばそう思わない</p> <p>エ. — そう思わない</p> <p>単位は%</p> <table data-bbox="486 705 877 884"> <thead> <tr> <th></th> <th>ア.</th> <th>イ.</th> <th>ウ.</th> <th>エ.</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>a</td> <td>10.4</td> <td>34.7</td> <td>30.8</td> <td>24.2</td> </tr> <tr> <td>b</td> <td>16.3</td> <td>45.9</td> <td>26.5</td> <td>11.2</td> </tr> <tr> <td>c</td> <td>…</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>…</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>		ア.	イ.	ウ.	エ.	a	10.4	34.7	30.8	24.2	b	16.3	45.9	26.5	11.2	c	…				…				
	ア.	イ.	ウ.	エ.																						
a	10.4	34.7	30.8	24.2																						
b	16.3	45.9	26.5	11.2																						
c	…																									
…																										
資料2	<p>表 国別に見た、「自分自身に満足している」割合</p> <p>「資料1」のaの国別の結果である。【冒頭部再掲】</p> <p>※数値は、「そう思う」「どちらかといえばそう思う」と答えた人の割合(%)を、それぞれ合計したものを。</p> <table data-bbox="534 1086 758 1265"> <thead> <tr> <th>国名</th> <th>割合(%)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>日本</td> <td>45.1</td> </tr> <tr> <td>韓国</td> <td>73.5</td> </tr> <tr> <td>アメリカ</td> <td>87.0</td> </tr> <tr> <td>…</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	国名	割合(%)	日本	45.1	韓国	73.5	アメリカ	87.0	…																
国名	割合(%)																									
日本	45.1																									
韓国	73.5																									
アメリカ	87.0																									
…																										
339 資料3	<p>表 「自分自身のイメージ」と「自分への満足感」の関係</p> <p>「資料1」のaとd、aとe、aとgの関係を調べたものである。【冒頭部再掲】</p> <p>「表の説明」</p> <p>ア. — そう思う</p> <p>イ. — どちらかといえばそう思う</p> <p>ウ. — どちらかといえばそう思わない</p> <p>エ. — そう思わない</p> <p>項目は次のように略記した。</p> <p>a (私は、自分自身に満足している) にア. と回答 → a_ア.</p> <p>単位は%</p> <p>Ⅰ 自己表現と満足感 (aとdの関係)</p> <p>a 私は、自分自身に満足している</p> <p>d 自分の考えをはっきり相手に伝えることができる</p> <table data-bbox="486 1881 925 1993"> <thead> <tr> <th></th> <th>a_ア.</th> <th>a_イ.</th> <th>a_ウ.</th> <th>a_エ.</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>d_ア.</td> <td>33.8</td> <td>33.1</td> <td>18.5</td> <td>14.6</td> </tr> <tr> <td>d_イ.</td> <td>10.6</td> <td>53.0</td> <td>26.9</td> <td>9.5</td> </tr> </tbody> </table>		a_ア.	a_イ.	a_ウ.	a_エ.	d_ア.	33.8	33.1	18.5	14.6	d_イ.	10.6	53.0	26.9	9.5										
	a_ア.	a_イ.	a_ウ.	a_エ.																						
d_ア.	33.8	33.1	18.5	14.6																						
d_イ.	10.6	53.0	26.9	9.5																						

		<p>II 挑戦心と満足感 (aとeの関係)</p> <p>a 私は、自分自身に満足している</p> <p>e うまくいくかわからないことにも意欲的に取り組む</p> <p>a_ア. a_イ. a_ウ. a_エ. e_ア. 43.4 27.0 18.9 10.7</p> <p>III 有用感と満足感 (aとgの関係)</p> <p>a 私は、自分自身に満足している</p> <p>g 自分は役に立たないと強く感じる</p> <p>a_ア. a_イ. a_ウ. a_エ. g_ア. 10.9 9.0 19.4 60.7</p>
339	資料4	<p>表 将来への希望の有無</p> <p>以下の質問に対する回答結果である。</p> <p>質問 — あなたは、自分の将来について明るい希望を持っていますか。あてはまるものを…【冒頭部再掲】</p> <p>「表の説明」</p> <p>ア. — 希望がある</p> <p>イ. — どちらかといえば希望がある</p> <p>ウ. — どちらかといえば希望がない</p> <p>エ. — 希望がない</p> <p>単位は%</p> <p>平成25年度 平成30年度</p> <p>ア. 12.2 18.0</p> <p>イ. 49.4 42.6</p>

343	表	<p>希望の有無および実現可能性別に見た幸福感の割合</p> <p>※20歳以上59歳以下の男女2010名が回答。</p> <p>※希望（将来実現してほしいこと、実現させたいこと）の有無を…</p> <p>※少数第2位を四捨五入しているため、総計は100にならない場合もある。</p> <p>（出所）「仕事と生活に関するアンケート調査」東京大学社会科学研究所・希望学プロジェクト、2006年1月実施。</p> <p>「表の説明」</p> <p>a — 希望がある</p> <p>a-1 — 実現見通しのある希望がある 【訂正申請】</p> <p>a-2 — 実現見通しのない希望がある</p> <p>b — 希望がない</p> <p>ア. — そう思う</p> <p>イ. — どちらかといえばそう思う</p> <p>ウ. — どちらかといえばそう思わない</p> <p>エ. — そう思わない</p> <p>単位は%</p> <p>あなたは現在、「幸福」だと思いますが</p> <table data-bbox="480 851 798 929"> <tr> <td></td> <td>a</td> <td>a-1</td> <td>a-2</td> <td>b</td> </tr> <tr> <td>ア.</td> <td>21.9</td> <td>24.6</td> <td>10.3</td> <td>13.1</td> </tr> </table>		a	a-1	a-2	b	ア.	21.9	24.6	10.3	13.1
	a	a-1	a-2	b								
ア.	21.9	24.6	10.3	13.1								
346	3行目	<p>【歴史的仮名遣い】</p> <p>残さむ、かはる</p> <p>ふじわらのよしつねはルビ通り現代仮名</p>										
346	10行目～	<p>【歴史的仮名遣い】</p> <p>助詞、いへる、まうす、もつとも、そのうへ</p>										
347	11行目	<p>うきみ／よに／やがて／きえなば／たづねても</p> <p>くさの／はらをば／とはじとや／おもふ</p>										
349	11～12行目	<p>【歴史的仮名遣い】</p>										
351	ことばと表現2.	<p>2. 「面目躍如」（p104 18）の読みと意味を調べてみよう（「読みと」を削除）</p>										
352	10～12行目	<p>【歴史的仮名遣い】</p> <p>かんびょー／いおー</p>										

358~359		【数表化（数値データなし。読み取り） 生徒の作成するレイアウト】
359	図1（表1）	<p>学校は楽しいか</p> <p>楽しい… 30.4% どちらかと言えば楽しい… 54.1% どちらかと言えば楽しくない… 11.9% 楽しくない… 3.6%</p>
359	図2（表2）	<p>学校に通う目的</p> <p>コミュニケーション… 56% 進路の実現… 49% 能力や教養を高める… 38% 特にない… 20% 目的を探す… 19% その他… 15%</p>
359	図3（表3）	<p>【先に〇〇の順と聞き、各項目ごと数字を4つ、2マスあけで列記】</p> <p>学校に通う目的と楽しさ</p> <p>「表の説明」</p> <p>「楽しい」「どちらかといえば楽しい」「どちらかと言えば楽しくない」「楽しくない」の順。</p> <p>単位は%</p> <p>コミュニケーション… 40 48 10 2 目的を探す… 31 56 10 3 能力や教養を高める… 29 53 16 2 進路の実現… 27 55 16 2 その他… 20 48 29 3 特にない… 9 47 43 1</p>
358	図4（表4）	<p>学校での悩み</p> <p>成績… 51.4% 進路… 51.4% 友人関係… 42.3% 部活動… 31.7% 特にない… 28.3% その他… 16.5%</p>
358	図5（表5）	<p>相談相手</p> <p>友人… 66.1% 家族… 49.3% その他… 11.7% 先輩… 10.0% 先生… 7.0% 特にない… 3.2%</p>

358	図6 (表6)	<p>【表3と同様の処理】</p> <p>学ぶ目的</p> <p>「表の説明」</p> <p>「そう思う」「どちらかと言えばそう思う」「どちらかと言えばそう思わない」「そう思わない」の順。</p> <p>単位は%</p> <p>将来楽しい生活を送る… 65 32 2 1</p> <p>将来経済的に豊かな生活を送る… 50 45 4 1</p> <p>社会の役に立つ人間になる… 41 35 16 8</p> <p>勉強内容そのものを深める… 35 45 13 7</p>
358	図7 (表7)	<p>学ぶ最大の目的</p> <p>将来楽しい生活を送る… 39.1%</p> <p>…</p>
362～363	解答例	<p>解答例 (1080字) 実線枠</p> <p>①欄外上 (序論、本論、結論) → 該当箇所の最後に (以上序論) (以上本論) (以上結論) と記載</p> <p>②傍線、欄外下 → 傍線は第3指示符。小論文の枠を閉じた後、(注意した点) という見出しを補足、1. 「話し方が…」と記載し、最後にpl指示。</p>
365	図	<p>【点図化】</p> <p>図 前近代、近代、現代の流れ</p> <p><前近代></p> <p>神</p> <p>↓</p> <p>自然</p> <p>↓ 抑圧</p> <p>人間</p> <p><近代></p> <p>解放</p> <p>人間 ← 自然</p> <p>→</p> <p>自然を理性により客観視</p> <p>↓</p> <p>心を持つものと持たないものに二分…物心二元論 (心身二元論)</p> <p>人間 — 精神 — 主体</p> <p>自然 — 物質 — 客体</p> <p>→ 合理主義、個人主義、資本主義、進歩主義</p> <p>《 生活は豊かになったが… 》</p> <p><現代></p> <p>様々な問題点が噴出 (課題の多様性) → 「近代」の再検討 → ポストモダニズム</p>

366	絵画	<p>【右上→1. とナンバリングに変更。残りは全て原文通り】</p> <p>芸術作品に現れる「近代」</p> <p>「絵画」</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. キリスト教的主題の絵（コレッジョ画） 2. キリスト教的主題の絵（ルーベンス画） 3. 静物画（セザンヌ画） 4. 風景画（モネ画） <p>上の四点の絵画を見てみよう。1. はイタリアの画家…</p>
369	絵画、写真	【タイトルごと削除】
374～	表現キーワード	<p>①思案など a. b. … 記号追加</p> <p>②引用文中の太字 第1指示符</p> <p>③出典は引用文に追込み。参照があるもの（→○巻○頁）</p> <p>④●印の問題には、前を1行空け、5マス（間い）の見出しを追加。問題のリード文の後を1行空け。</p>
374	下段 問い	<p>Aさん 「先週、…」</p> <p>Bさん 「□」</p>
375	4コマ漫画	<p>【書き下し】</p> <p>4 コマ漫画</p> <p>1</p> <p>《 男子生徒Aが男子生徒Bに話しかけている 》</p> <p>A… 昨日遊びに来てくれたときに、うちの「ハナコ」が君をすごく気に入ったみたい。君が帰った後玄関でさびしがっていたよ。</p> <p>2</p> <p>《 Bは犬をだいて「こんにちは」と言う女性を思い浮かべている 》</p> <p>B… （独白） そういえば家にお姉さんがいたなあ…ハナコさんというのか。</p> <p>3</p> <p>翌日…</p> <p>B… （Aに花束を差し出して） これ、よかったらハナコさんに。</p> <p>A… （びっくりして） えっ!?</p> <p>4</p> <p>《 犬の「ハナコ」にじゃれつかれて頭をかかえるBとあきれた表情のA 》</p> <p>B… どうしてちゃんと教えてくれなかったんだ!</p> <p>A… 自分のせいでしょ。</p>
376	下段	偏見 引用文中「である」「の中に」の傍点を削除。
382	下段 問い	アナウンサー 「野生動物に関する…
383	下段 問い	<p>華美な服装は避けること</p> <p>華美な服装を第一指示符にするため、華美（太字）には第一指示符を付さない。</p>
見返し	③④	<p>前見返し・後見返しとはせず、見返し3、見返し4で記載</p> <ul style="list-style-type: none"> ・原典頁に 前見返し3_後見返し4 が入らないため ・目次で巻頭・巻末と記載されているので、巻頭・巻末があることはわかる ・通し番号なので重複しない ・前見返し①②後見返し④⑤の写真・絵画等はタイトルごと削除